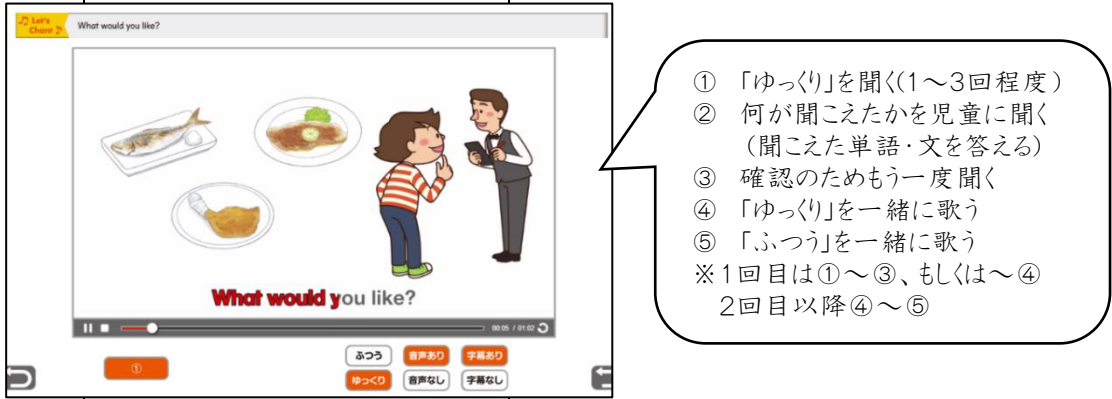


高根スタイル1時間の活動例 5年 Unit8 Lesson2 単元名「What would you like?」

時間	児童の活動	指導者の活動 ㊟評価く方法	準備物
前時	(Lesson1 の活動例) Activity Pointing game(自分が該当する場合のみ point & repeat で、心と言語の一致)	Pointing game...point & repeat Level.1 AET「Cake」 Ss「Cake」 Level.2 AET「I would like a cake.」 Ss「I would like a cake.」 Level.3 AET「Cake」 Ss「I would like a cake.」	メニューが載った資料
2分	Greeting Stand up, please. Hello, Mr. Kawakita. Hello, Ms. Dianne. I'm (),thank you. And you? It's ().	Let's start. Hello, everyone. How are you today? ・全児童に1対1で体調について会話する。 I'm (),thank you. How is the weather today?/What day is it today?/What's the date today?	
3分	Song ・Food jingle を歌う。 ※例は3年の学習 “Rainbow song”を歌う。 ♪ Red and yellow and pink and green, Purple and orange and blue, I can sing a rainbow, Sing a rainbow, Sing a rainbow,too.	・無理に歌わせず、歌える部分だけでよい。 ・黒板を使い、色に関する単語(本時で特に聞かせたい部分)が入る場所に線を引きながら歌を歌う。 ・“rainbow.”の部分で歌う際にはジェスチャーを促す。 ・どんな単語が聞こえたかを聞く。 ・児童が答えた単語の場所にカードを貼る。 ・児童が聞き取れなかった単語があった場合は、もう一度歌う。再度、どんな単語が聞こえたかを聞き、答えられた単語の場所にカードを貼っていく。 ・カードを見ながら、みんなで歌わせる。	単語カード
5分	Small talk ・教師と児童のやりとり ※他の行い方 ・教師と全体のやりとり ・HRT と AET と全体のやりとり ・絵本を見ながらの book talk	・2グループで円になり座り、5分間「好きな食べ物」について、メニューの絵が載った資料を見て雑談的なやりとりをする。 ・使えるフレーズ “What's this? Do you like~? Oh,youlike~ You don'tlike~. What do you like? I like~. How about you?	メニューが載った資料
3分	Chant 【Let's Chant】What would you like? P.61 ・チャンツを言う。(2.3回)	・児童の実態に応じて、スピードを選ぶ。 ・食べ物の名前や家族を児童自身が選ぶと、繰り返し言う際の動機付けとなる。	デジタル教材 教師用カード (食べ物、家族)
 <p>The screenshot shows a digital menu titled "What would you like?" with illustrations of a fish, a steak, and a bowl of soup. A character is talking to a server. Below the menu are playback controls like "ふつ" (normal), "ゆっくり" (slow), "音声あり" (audio on), "音声なし" (audio off), "字幕あり" (subtitles on), and "字幕なし" (subtitles off).</p> <p>① 「ゆっくり」を聞く(1~3回程度) ② 何が聞こえたかを児童に聞く(聞こえた単語・文を答える) ③ 確認のためもう一度聞く ④ 「ゆっくり」を一緒に歌う ⑤ 「ふつ」を一緒に歌う ※1回目は①~③、もしくは~④ 2回目以降④~⑤</p>			
5分	Today's goal ・HRT と AET のデモンストレーションを見て、全体で場面を想定する。 ・今日の課題に気付く。 ・Today's goal を設定する。「コースのメインメニューをオーダーしよう」	AET:What would you like? HRT:I would like ○○. AET:Here you are. HRT:Thank you. ・どんな言葉が聞こえたか、どんな内容の会話をしていったかを問う。 ・誰のためのコースなのか目的意識を持たせる。	教師用カード(飲食物)

<p>17分</p>	<p>1 by 1</p> <ul style="list-style-type: none"> ・HRTとAETのやり取りを聞く。 ・聞き取れた言葉や、やり取りの内容を発表する。 ・やり取りを聞きながら、答えられる質問に答える。 <p>切り返しの言葉の例 【共感】 Oh(Ah. I see.), you would like ○○. 【広げる】 How about? I would like ○○ too. (挙手) Would you like ○○? 等</p>	<p>AET:What would you like? HRT:I would like ○○. AET:Here you are. HRT:Thank you.</p> <ul style="list-style-type: none"> ・どんな言葉が聞こえたか、どんな内容の会話をしてきたかを問う。 ・役割演技やジェスチャー、具体物を用いて、やり取りの内容を視覚的にも理解できるようにする。 ・【共感】切り返しの言葉を用いて児童に共感を示す。正しい表現(本時では「would like」)を繰り返して聞かせ、耳を豊かにしていく。 ・【広げる】切り返しの言葉を用いて、やり取りを児童に広げる。児童には、無理に英文を言わせようとせず、単語で構わないので、聞き取れた範囲で反応させる。 	<p>教師用カード(飲食物) 児童用カード カードを貼る台紙</p>
<p>6分</p>	<p>Let's Watch and Think 1</p> <ul style="list-style-type: none"> ・世界の様々な名物料理について映像資料を視聴し、世界には様々な食生活があることを知る。 ・指導者の質問に答え、食べ物に関する感想の言い方に慣れ親しむ。 ・「どの国?」「どんな食べ物かな?」視点をもって視聴する。 ・「どんなものだった?」「何が聞こえた?」(簡単に解説する。) ・再度視聴する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・①～⑦の7種類の映像のうち、これまでに視聴しなかった④⑥の2種類を視聴させる。④Fruits juice:Hawaii ⑥Pirozhiki:Russia は、児童の日常生活でも耳にしたり、食べたりしたことがある食べ物である。 ・ただ視聴するのではなく、指導者は、It's delicious / yummy / healthy. などと食べ物の感想を入れる。子供がよく食べている料理の絵カードや写真を見せ、Do you like～? It's delicious / yummy / healthy?などと問いかけ、食べ物に関する感想の表現の仕方に慣れさせるようにする。また、It's delicious / yummy / healthy.と自ら言うよう促す。 	<p>デジタル教材 料理の写真</p>
<p>3分</p>	<p>Look-back</p> <ul style="list-style-type: none"> ・本時の振り返りをする。 ・感想を発表する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・Today's goal や活動を行う中で感じたことを自らの言葉でまとめさせる。 ・振り返りの観点を示す。 <div data-bbox="703 1294 1238 1570" style="border: 1px solid black; padding: 10px; margin: 10px auto; width: fit-content;"> <p>〈振り返りの観点〉</p> <ol style="list-style-type: none"> ① ○○な言い方ができました。 ② ○○な言葉をつかえました。 ③ ○○さんのここがよかったです。 ④ 次はこれを言いたいです。 ⑤ ○○は何というのか気になりました。 ⑥ 英語でこんな活動ができました。 </div>	<p>振り返りの観点を示すカード、振り返りカード</p>
<p>1分</p>	<p>Greeting</p> <p>See you, Mr. Kawakita. See you, Ms. Dianne. Thank you.</p>	<p>That's all for today. Thank you everyone. See you everyone. Good bye.</p>	
<p>次時</p>	<p>(Lesson3、4の活動例) Activity</p> <ul style="list-style-type: none"> ・コースのサイドメニューを注文して、コースを完成させる。 ・自分が作ったコース料理の紹介をする。 	<ul style="list-style-type: none"> ・本時の1 by 1で行ったやりとりと同じ活動を通して、サイドメニューを注文させる。 ・誰のための、どんな内容のコース料理か紹介させる。 	<p>Lesson2で料理を貼った台紙</p>